

浮金小だより



発行：令和2年3月3日（火）

文責：浮金小学校長 松崎 健一

3月4日より休校となります！

今般の新型コロナウイルスの感染拡大及びその防止をはかる国・県・町の方針のもと、3月4日より休校の措置をとります。本来この期間は、子どもたちにとって、学年末のまとめとして大切な期間であり、特に今年度は本校が閉校することもあり、とても大切で貴重な期間でもありました。学校としては、子どもたちが不安なく、年度の切りかえなどの心の整理ができるよう、3月23日の修・卒業式、3月28日の閉校式で実施すべき内容を検討していきます。現地点で子どもたちは修・卒業式、閉校式の練習ができておりませんが、形式や出来栄にこだわらず、子どもたちの心に刻むことのできる式とすることを最重点に考えています。

なお、卒業式は、全児童と卒業生保護者の皆様にご参加いただく予定ですが、来賓については縮小してご案内することが考えられます。閉校式は、全児童の参加とし、保護者を含め地域の方々や来賓等の参加については縮小することが考えられます。今後の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、町教育委員会と協議をしながら決定していきますので、ご理解いただきたいと思ひます。



昨日の全校朝の会で次のように話しました。

今週の水曜日から学校がお休みになります。～省略～

さて、3月には大切な式があります。修了式、卒業式、閉校式です。これらの式の練習をほとんどしていませんが、がんばってやってみましょう。卒業式では**呼びかけ**があります。

浮金小学校生活を振り返りながら思いを伝え合い、6年生を送り出すのが**呼びかけ**です。

1年生にとっては初めてですが、2年生以上は経験しているので**呼びかけ**の雰囲気は分かりますよね。

みんなで作った**呼びかけ**を校長先生は大事にしたい。

原稿の紙を見ながらでもいいから堂々とやってみましょう。

「練習をしていない」「先生にこうしなさいと言われていない」など言わずにこういうときこそ「気づき、考え、実行する」です。

起立や礼のタイミングが少しぐらいずれたってかまいません。

間違えることを恐れずに、正しいと思うこと、これまでやってきたことを生かしながら表現しましょう。

家族も地域の方も、先生方も、そんな皆さんの姿が一番見たいんです。

少し大変だろうかと校長先生も分かっていますが、あえて言いますね。がんばりなさい。



子どもたちは真剣に聞いていました。頷きながら聞いている子もいて、大変心強く思いました。新型コロナウイルスの感染状況が改善されることを願いながら、学校は式の準備を進めてまいります。



1年生からクイズが出されました！

朝の会では、学年ごとに発表する時間が設けられています。今年度最後の発表は1年生でした。学校を探検しながら問題づくりをしたようです。学年ごとに問題を出してくれましたが、意外に難問というか1年生らしいというか、とにかく子どもたちの笑顔がたくさん見られた楽しい時間となりました。

こんなクイズが出ましたよ。さて何でしょう。答えは、お子さんに聞いてください。

2年生へ
体育館にあり
ます。体育の
時間には使い
ません。

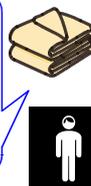


3年生へ
音がします。
音楽の時間に
使います。



4年生へ
音楽準備室
にありま
す。音がな
ります。

5年生へ
保健室にあ
ります。み
んなが使
います。



6年生へ
不気味です。
理科準備室に
います。



先生方へ
生きてます。
2階にいま
す。

6年生へプレゼント

休校のため、楽しみにしていた3月のいろいろな催しができなくなりました。**卒業を祝う会**もその一つで、5年生を中心として準備を進めていました。子どもたちが心を込めて作ったプレゼントや歌のプレゼントが用意されていたので、短い時間ではありましたがその機会をつくりました。6年生に感謝の気持ちを表すことができました。6年生からもプレゼントがあり、それを手にした子どもたちは互いに見せ合いながらニコニコでした。よかったね、6年生。よかったね、みなさん。



5・6年生シャッフル給食

先週から、5・6年生が1～4年生教室を訪問し一緒に給食を食べています。委員会の発案で、先生シャッフル給食が予定されていましたが、それに先だって5・6年生シャッフル給食です。

特に低学年の子どもたちは嬉しいようで、会話が弾みすぎて、いつもより食べるのに時間がかかってしまい片付けが遅くなることも……。また、いつもだったら、おかわり争奪戦に間違いなく参加する5・6年生が、「いいよ」と下学年に譲る場面も見られるそうです。

いつもと違った雰囲気できょうができています。とても良いアイデアですね。



1年教室を訪問



2年教室を訪問



3・4年教室を訪問

美味しい給食に感謝

本日が、子どもたちにとって浮金小での最後の給食となってしまいました。昨日、委員会の子供たちから、これまで給食運搬車で美味しい給食を運んでくださった吉田さんと村上さんに、お礼の言葉を言いたいとの話がありましたので、その機会を設けました。実際の様子が左の写真です。嬉しくなる子どもたちの行動ですよ。

給食センターの皆さんにも、子どもたちの声が届いたかと思います。いつもわくわくする給食を提供していただきました。ありがとうございました。



校長室より

なわとび記録会を2月21日に実施しました。この記録会では、一人一人のひたむきながんばりがたくさん見られました。浮小ならではの縦割り班対抗の8の字跳びや今回初挑戦の全員跳びでは、例年以上に熱い戦いがありました。記録会に向けてのチームワークも素晴らしいものでした。昼休み時間の体育館には、毎日のように子どもたちの本気で練習する姿がありました。5・6年生が中心となって、チームを1つにしようと班員に声をかけ練習していました。何度失敗しようとも、誰のせいにする事なく励まし合い声をかけ合い跳び続け、記録を更新する度に歓声が起こっていました。浮小の強みがまさにここにあります。皆で協力し合い助け合う心が育っているのです。



全員跳びに挑戦！！

- ・行事がたくさんあり、その度に役割があった。中学校では初めてのことも増えるが精一杯がんばりたい。
- ・協力の大切さを改めて感じた。
- ・中学校でも良い人間関係を築き、充実した生活を送りたい。
- ・スポーツフェスティバルでは、浮金の人達のパワーを感じた。
- ・様々な行事の中で一緒にふれあうことができ、自分たちの浮金小学校を創ることができた。
- ・中学校でも一つ一つのことをしっかりと考え、身を引き締めて生活したい。

これらは、PTA会報『うきがね』最終号に掲載される6年生のコメントの一部です。心身共にたくましく育っていることがよく分かります。頼もしいですよ。

このように元気で明るい38名の子どもたちのためにも、浮金小学校最後の修・卒業式と閉校式を、健康面に配慮しながら実施したいと考えています。最後の浮金小学校長としての決断力が問われています。